

## まちづくり体験塾（愛媛県砥部町）

### 取組概要

砥部町で平成26年から実施してきたバランスシート探検隊、平成27年度に実施したSIM2030inとベをコラボさせた「まちづくり体験塾」を平成28年8月に実施する。バランスシート探検隊は、施設別財務諸表といったデータからつくられたレクチャーノートを手手に公共施設を巡り、老朽化や更新問題について考える。また、SIM2030では参加者が架空のまちの幹部になって、減少していく財源の中、幹部同士が対話を進め、まちづくりをゲーム感覚で体験していく。

人口 21,533人

担当 企画財政課



### 取組の効果

地方公共団体はこれから公共施設の更新問題や社会保障関係費の増大や税収の減少に直面するが、このようなイベントを通じて住民とディスカッションしておくことは、とても有用だと考える。公共施設の統廃合や複合化ほか、いろいろなシチュエーションでしっかりデータを見て建設的な意見を述べてくれる住民が増えることを期待している。この事業はそのきっかけになればと考えている。



### 創意・工夫した点

バランスシート探検隊は千葉大学と習志野市、SIMふくおか2030は福岡市のイベントであるが、それに本町のふせん紙仕訳ゲームをコラボさせることで、自治体が抱える問題を網羅的に住民に分かりやすく、楽しく伝えることができる事業になる。

### 他団体へのアドバイス

この事業は、自治体が抱える課題を一つの流れで伝えていくことができる。分かりやすく、そして楽しく、学生からお年寄りまで楽しみながら自治体の伝えるべきことが周知できる。

